

“壬生町政を問う” 一般質問に登壇



子育て支援の現状と課題を問う

問 ①放課後児童クラブの定員超による新設等の対応は。②子ども発達支援センタードリームキッズのサービスの補完、拡充の見込みは。

【答弁と解説】

壬生町は「子育て環境日本一」を目標に掲げていますが、同世代の声を集約すると、未だ課題は多く残っています。

以下が民生部長の答弁です。①現在二一ス調査を実施中であり、今年度子ども・子育て支援事業計画を策定する中で検討してまいります。②障がい程度に応じた適切な指導及び訓練、保護者が障がいを受容し主体的に子育てができるよう、多面的に支援の充実を図ってまいります。

——幼児から義務教育&生涯教育まで誰もが学べる機会

同時に行っており、本町のブランド推進に生かしていきたいと考えています。農業者が6次産業化の全てを担うのではなく、農工商連携の取り組みこそがブランド推進の鍵であるという、認識の定着をまず図ってまいります。

アベノミクスと地方財源の確保

問 ①昨年度の給与臨時措置の成果と影響は。②法人税率引き下げによる原資を、普通交付税として地方に分配する方向性がある。③消費増税分の社会保障費の想定&検証は。

【答弁と解説】

アベノミクスにおいては、地方が自らの裁量で財源確保に努力しなければなりません。以下が総務部長の答弁です。①約7000万円の給与削減の財政措置として、特別枠の緊急防災・減債事業債を活用し、みぶハイウェイパーク太陽光発電施設整備や防災行政無線整備、コミュニティ消防センター整備等防災対策を重点的に推進しました。②代替財源については、状況を見極めながら新年度予算に向けて検討してまいります。③本年度の歳入では引き上げ分を5000万円と見込み、福祉費2230万8千円、社会保険費2393万4千円、

保健衛生費375万8千円の充当を想定しています。消費増税分はすべて社会保険費に充てる。——大前提を崩さぬよう、自治体にも厳しい対応が求められています。

町民生活の諸問題への対応を問う

問 ①おもちゃのまち駅西や1オン北、安塚街道の信号の適宜性や新設について見解を。②下馬木や星の宮地内等、舗装工事の要望が多いが。③南運動場のトイレの様式化を。

【答弁と解説】

壬生町内各区域を細やかにしながら頂戴した意見を、インレクトに提起しました。以下が建設部長の答弁です。①交通安全の確保の観点から、必要性を認識しているところですが、今後とも警察、公営委員会と協議調整を図ってまいります。②個々の現場状況を精査し、関係機関と協議を行い、緊急性、重要性、事業効果などを勘案し、限られた予算の中で効率的整備に努めてまいります。③現在は簡易型のトイレを設置してあります。現状を調査し、対応してまいります。

町長から「同様の意見を聞いている」との答弁がありました。皆様の声が多く形にならうよう、研鑽してまいります。

壬生町議会議員選挙——全国から同志が応援に！

3月に行われた私自身4回目の選挙において、民主党公認、連合栃木の推薦を受け、1584票を得て一位当選を果たさせて戴きました。今回は、青年委員会の同志が全国から応援に駆け付けてくれました。



大島宣和後援会会長、篠原浩典同幹事長はじめ皆さんと
道下大樹北海道議会議員 森山浩行前衆議院議員 栗山雅史兵庫県議会議員
民主党青年委員長 津村啓介衆議院議員と



西澤圭太東京都議会議員(左)、小山有彦東京都議会議員と
青山明日香千葉3区総支部長(左)、三神貴志志いたま市議会議員と
小野寺健仙台市議会議員(左)、田形誠静岡県議会議員と
奇藤孝明栃木県議会議員と